

令和8年度 清水ヶ丘地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

・ケアプラン圏域内でチームオレンジについての周知が足りていません。キャラバンメイト不在の地域もあり合わせて普及、啓発の必要があります。
 ・坂の多い地形で交通の便が悪い地域が多くあり、子育て支援や介護予防などの情報を得にくい状況があります。地域に出向いてケアプラザ事業の周知や開催を積極的にすすめていきます。
 ・高齢者食事会、子育て・高齢者サロンなどの集いの場は定期的に開催出来ています。担い手の高齢化や参加者の減少で継続が難しくなってきた活動が出てきています。維持継続目的の支援がより必要になっています。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	みなみ桜まつりに参加してチームオレンジの普及・啓発をすすめます。その中でキャラバンメイトを募集して仲間を増やしていきます。
☐	☒	子どもが生まれる前からケアプラザ等、関係機関との関わりや参加者同士つながる機会を増やし、子育ての不安軽減や孤立防止の為、「プレママ・プレパパ向けの講座」を親と子のつどいの広場M-HOUSEや区役所と協働して開催していきます。
☐	☒	健康作りのために「ポッチャ」と「椅子ヨガ」等を開催して、地域での交流を広げていきます。また集いの場としてカフェを開催しケアプラザの情報発信の場にしていきます。
☐	☒	今年度も継続して「まちテクラリー」を行います。太田地区・太田東部地区の保健活動推進員と一緒に取組み、地域の健康づくり事業として取り組みを進めていきます。
☐	☒	月に1回の頻度で介護者のつどい(みんなの会)を開催し、同じ不安や悩みを話せる場を提供します。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント

令和8年度清水ヶ丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	地域包括支援センターでは関係する事業所との連携を強化し、公正中立性を確保する為に、依頼先が特定の事業所に偏らないようケアマネサロンを定期開催し、顔の見える仕組みづくりを行います。又、依頼先について記録するなどして公正・中立性を確保するよう努めます。	コンプライアンスや事故等のリスク管理等について、所内会議や各職種会議等を通じて周知を行います。個人書類のダブルチェック等、作業者が納得理解して取り組めるよう、意見交換を行ない、作業手順の書面化、共有化を図ります。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	お客様が要介護状態になることを防ぎ、要支援状態になってもその悪化をできる限り防ぐために住み慣れた場所で、自立した日常生活を送ることができることを目標にしています。地域の中で生きがいや役割を持って生活できるよう、必要なサービスを利用して目標達成に取り組んでいけるような計画を作成するように努めます。	計画の作成にあたっては、お客様やご家族様の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標とします。 お客様の自己選択を尊重するとともに、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用でき、状態の維持や軽減を図れるようにします。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	地域包括支援センター (保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、ケアプランナー2名)5名	介護支援専門員(ケアマネジャー)常勤2名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	一日を楽しく有意義に過ごせるように、趣味のサークル活動を充実させます。また、その中で仲間づくりができるよう工夫します。 地域のボランティアや近隣の小中学校・高校等、様々な世代と社会交流を行う機会を設けます。また、安心して過ごしていただけるよう日頃より事故防止の取り組みを行います。 取組 ①四季折々のイベント(夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など)のほかに、アクティビティを行います。 ②地域の保育園、小中学校、各種団体などとの交流の機会を積極的に取り入れ、地域との交流を図ります。 ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族様や担当ケアマネジャーと連携をします。 ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、体操プログラムを実施します。 ⑤安心してサービス利用をする為に、ヒヤリハットを記録して検証を行い、事故防止に努めます。	他者との交流を通して社会性を維持する事で、認知機能の維持・向上に努めていきます。 認知機能・身体機能の維持・向上の為にプログラムを提供します。 取組 ①季節を感じる事が出来る様に四季折々のイベントを行います。 ②脳のトレーニングを行います。 ③調理レクリエーションを通し手段的日常生活動作が、独力で出来る事の機能訓練を行います。 ④運動機能を維持する為に、個別に機能訓練を行います。 ⑤個別機能訓練の一環として戸外訓練を行います。	
実施体制	【実施日数】 307日 【提供時間】 8:45～16:45 【定員】 35名	【実施日数】 52日 【提供時間】 8:45～16:45 【定員】 12名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 ●食費負担750円	【その他料金】 ●食費負担750円	【その他料金】
職員体制	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員6名(常勤兼務) 看護職員5名(非常勤兼務) 機能訓練指導員5名(非常勤兼務) 介護職員20名(常勤兼務6名、非常勤専従11名、非常勤兼務3名) 運転職員6名(非常勤専従5名、非常勤兼務1名)	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員6名(常勤兼務) 看護職員1名(非常勤兼務) 機能訓練指導員1名(非常勤兼務) 介護職員9名(常勤兼務6名、非常勤兼務3名) 運転職員1名(非常勤兼務1名)	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和8年度「横浜市清水ヶ丘地域ヶアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部 (単位：円)

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料		22,993,755	0	22,993,755	0	22,993,755	横浜市より
内訳	受領額	22,993,755		22,993,755		22,993,755	
	戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）				0		0	
雑入		0	0	0	0	0	
内訳	印刷代			0		0	
	自動販売機手数料			0		0	
	その他			0		0	
				0		0	
その他		1,221,000		1,221,000		1,221,000	
収入合計		24,214,755	0	24,214,755	0	24,214,755	

支出の部

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費		12,110,343	0	12,110,343	0	12,110,343	
内訳	本俸	8,852,731		8,852,731		8,852,731	職員給与、非常勤職員給与
	社会保険料	969,203		969,203		969,203	社会保険料、労働保険料
	手当計	2,002,787		2,002,787		2,002,787	賞与、通勤手当、超過勤務等
	健康診断費	46,773		46,773		46,773	健康診断、ストレスチェック
	勤労者福祉共済掛金	8,649		8,649		8,649	ハマふれんど
	退職給付引当金繰入額	205,402		205,402		205,402	退職共済掛金
	その他	24,798		24,798		24,798	インフルエンザ接種補助
事務費		4,777,355	0	4,777,355	0	4,777,355	
内訳	旅費	6,608		6,608		6,608	出張旅費
	消耗品費	405,500		405,500		405,500	事務用品、感染症対策グッズ
	会議賄い費	15,019		15,019		15,019	運営協議会お茶代
	印刷製本費	247,806		247,806		247,806	コピーカウント料、印刷代
	通信費	1,179,645		1,179,645		1,179,645	電話料金、郵便料金、インターネット通信費
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
	内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
	訳 その他			0		0	
	備品購入費	22,528		22,528		22,528	事務所用チェア
	図書購入費			0		0	
	施設賠償責任保険	57,623		57,623		57,623	傷害賠償保険料
	職員等研修費	15,019		15,019		15,019	研修交通費
	振込手数料	32,440		32,440		32,440	為替手数料
	リース料	1,066,216		1,066,216		1,066,216	パソコンリース、AEDリース料等
	手数料	40,244		40,244		40,244	EBサービス手数料等
	地域協力費	20,425		20,425		20,425	諸会費
	公租公課	1,501	0	1,501	0	1,501	
	事業所税			0		0	
	内 消費税			0		0	
	訳 印紙税	1,501		1,501		1,501	印紙代
	その他			0		0	
	その他	1,666,781		1,666,781		1,666,781	広報紙、自転車点検、自転車修理、給与計算委託他
事業費		889,762	0	889,762	0	889,762	
内訳	自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）	889,762		889,762		889,762	
	その他			0		0	
管理費		5,963,295	0	5,963,295	0	5,963,295	
内訳	光熱水費	3,687,203		3,687,203		3,687,203	
	清掃費	1,296,509		1,296,509		1,296,509	
	機械警備費	35,276		35,276		35,276	
	設備保全費	691,433	0	691,433	0	691,433	
	内 空調衛生設備保守	442,366		442,366		442,366	
	内 消防設備保守	84,820		84,820		84,820	
	内 電気設備保守	51,633		51,633		51,633	
	訳 害虫駆除清掃保守	17,400		17,400		17,400	
	駐車場設備保全費	6,533		6,533		6,533	
	その他保全費	88,681		88,681		88,681	
	共益費	0		0		0	
	その他	252,874		252,874		252,874	一般廃棄物処理費用
	修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検				0		0	
太陽光パネル修繕（追加）				0		0	
その他		0	0	0	0	0	
内訳				0		0	
				0		0	
支出合計		24,214,755	0	24,214,755	0	24,214,755	
差引		0	0	0	0	0	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主企画事業費 支出	889,762	0	889,762	0	889,762	
自主企画事業 収支	△ 889,762	0	△ 889,762	0	△ 889,762	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和8年度「横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部						(単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	28,521,076	0	28,521,076	0	28,521,076	横浜市より
内 受領額	28,521,076		28,521,076		28,521,076	
訳 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	100,000		100,000		100,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,407,805	0	6,407,805	0	6,407,805	横浜市より
内 受領額	6,407,805		6,407,805		6,407,805	
訳 戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
訳 自動販売機手数料			0		0	
訳 その他			0		0	
その他	2,113,368		2,113,368		2,113,368	
収入合計	37,296,249	0	37,296,249	0	37,296,249	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,485,902	0	30,485,902	0	30,485,902	
内 本俸	17,185,875		17,185,875		17,185,875	職員給与、非常勤職員給与
内 社会保険料	4,084,756		4,084,756		4,084,756	社会保険料、労働保険料
内 手当計	8,368,954		8,368,954		8,368,954	賞与、通勤手当、超過勤務等
内 健康診断費	41,357		41,357		41,357	健康診断、ストレスチェック
内 勤労者福祉共済掛金	32,225		32,225		32,225	ハマふれんど
内 退職給付引当金繰入額	765,335		765,335		765,335	退職共済掛金
内 その他	7,400		7,400		7,400	インフルエンザ接種補助
事務費	3,574,820	0	3,574,820	0	3,574,820	
内 旅費	39,235		39,235		39,235	出張旅費
内 消耗品費	341,161		341,161		341,161	事務用品、感染症対策グッズ
内 会議賄い費	7,373		7,373		7,373	会議開催費
内 印刷製本費	202,750		202,750		202,750	コピーカウント料、印刷代
内 通信費	1,134,482		1,134,482		1,134,482	電話料金、郵便料金、インターネット通信費
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
内 訳 その他			0		0	
内 備品購入費	18,432		18,432		18,432	事務所用チェア
内 図書購入費			0		0	
内 施設賠償責任保険	47,146		47,146		47,146	傷害賠償保険料
内 職員等研修費	56,524		56,524		56,524	研修交通費
内 振込手数料	26,542		26,542		26,542	為替手数料
内 リース料	1,006,108		1,006,108		1,006,108	パソコンリース、AEDリース料等
内 手数料	92,125		92,125		92,125	EBサービス手数料等
内 地域協力費	68,321		68,321		68,321	諸会費
内 公租公課	1,229	0	1,229	0	1,229	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 訳 印紙税	1,229		1,229		1,229	印紙代
内 訳 その他			0		0	
内 その他	533,392		533,392		533,392	広報紙、自転車点検、自転車修理、給与計算委託他
事業費	1,308,598	0	1,308,598	0	1,308,598	
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】	365,598		365,598		365,598	
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】	59,000		59,000		59,000	
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】	100,000		100,000		100,000	
内 その他			0		0	
管理費	1,800,929	0	1,800,929	0	1,800,929	
内 光熱水費	1,116,289		1,116,289		1,116,289	
内 清掃費	389,985		389,985		389,985	
内 機械警備費	10,610		10,610		10,610	
内 設備保全費	209,305	0	209,305	0	209,305	
内 空調衛生設備保守	133,922		133,922		133,922	
内 消防設備保守	25,678		25,678		25,678	
内 電気設備保守	15,629		15,629		15,629	
内 害虫駆除清掃保守	5,267		5,267		5,267	
内 駐車場設備保全費	1,965		1,965		1,965	
内 その他保全費	26,844		26,844		26,844	
内 共益費			0		0	
内 その他	74,740		74,740		74,740	一般廃棄物処理費用
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	
内 訳			0		0	
支出合計	37,296,249	0	37,296,249	0	37,296,249	
差引	0	0	0	0	0	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主企画事業費 支出	678,598	0	678,598	0	678,598	
自主企画事業 収支	△ 678,598	0	△ 678,598	0	△ 678,598	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和8年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

令和8年4月1日～令和9年3月31日

施設名：横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	15,038		15,038	13,105		13,105	101,965		101,965	8,899		8,899
	その他	0	0	0	110	0	110	225	0	225	1	0	1
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	受託事業収入 (追加配付額)			0			0			0			0
	認定調査委託料			0	110		110			0			0
	原案作成委託料			0			0			0			0
	補助金			0			0			0			0
	その他			0			0	225		225	1		1
	収入合計(A)	15,038	0	15,038	13,215	0	13,215	102,190	0	102,190	8,900	0	8,900
支出	人件費	6,116		6,116	14,133		14,133	78,588		78,588	6,373		6,373
	事務費	7,501		7,501	1,493		1,493	6,941		6,941	690		690
	事業費	2		2	39		39	8,643		8,643	696		696
	管理費	0		0			0	6,842		6,842	508		508
	その他	1,418	0	1,418	0	0	0	3,954	0	3,954	633	0	633
	利用者負担軽減額			0			0	102		102			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	本部繰入金	1,418		1,418			0	3,852		3,852	633		633
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	支出合計(B)	15,038	0	15,038	15,665	0	15,665	104,968	0	104,968	8,900	0	8,900
収支 (A)－(B)		0	0	0	-2,451	0	-2,451	-2,778	0	-2,778	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和8年度 自主企画事業(指定管理事業)計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	子育て広場「たけのこ」	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て広場として、親子での外出や交流の機会を提供。	3:養育者及び乳幼児	5	月に2回開催。毎月第2金、第4水曜日の午前中に子育て世代親子を対象に多目的ホールを開放して自由遊びの場としてもらう。
2	子育て広場「ベビーマッサージとベビーヨガレッチ」	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て広場として、親子での外出や交流の機会を提供。	3:養育者及び乳幼児	5	毎月第1木曜日に未就園児を持つ親子を対象とした講座を開催。 1回ごとに参加者を募集。「ベビーマッサージとベビーヨガレッチ」を開催する。
3	子育て広場「よちよちさんのからだ遊び」	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のスキンシップを図るとともに、外出や交流の機会をつくる。	3:養育者及び乳幼児	5	偶数月の第3木曜日に開催。講師を迎え、歩けるようになったお子さんの親子を対象に体を動かして楽しい時間を過ごす。
4	親子レンジャー	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の親子や家族などを対象に身近なケアプラザを利用し地域での居場所作りとともに、家庭と異なる環境・人との接点づくりと参加者同士の交流を図る。	4:子ども・青少年	5	毎月第2日曜日に開催。3B体操の講師を迎え、地域の方を対象に音楽に合わせ体操やストレッチを行い楽しい時間を過ごす。
5	レッツ!!ポッチャ	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の方々が楽しみながら体を動かし、自然と交流できる。	5:地域	1	ポッチャを通して仲間をつくり、楽しい時間を過ごす。 第2木曜、第4木曜に開催。
6	手しごと倶楽部	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	外出のきっかけとなる、ちょっとした楽しみが 感じられる場を参加者と一緒に作っていく	1:高齢者	5	折り紙や小物などを参加者の意見を取り入れながら作成していく。 第4金曜日(休み、変更あり)
7	くらしと趣味の学習館	平成11年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	住まいの簡単な小修繕や趣味を通して仲間作りや地域参加の推進を促す。さらにボランティア活動につなげる。	5:地域	1	ボランティアグループ「生活応援団ちよぼら」のメンバーを講師やサポーターに迎え、地域の方を対象に小修繕や趣味の講座を年3回開催する。 5月「網戸の張り替え方法」、6月「包丁の研ぎ方」、11月「包丁の研ぎ方」
8	まちテクラリー	令和2年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の人が身近な地域を歩くことを通して、健康を保つことができる。見慣れた地域の再発見や緩やかなつながりを感じることができる。	5:地域		ケアプラザ担当エリア内の施設や町内会掲示板等にクイズを掲示。クイズに答えながら歩いて地域を回ってもらう。 11月
9	清水ヶ丘地域ケアプラザ祭り「ヒルトップフェスタ」	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	清水ヶ丘地域ケアプラザのPRと地域住民との交流、ボランティア団体・個人、関連施設との連携等を行う。	5:地域		ケアプラザまつりとして、サークル団体の発表やボランティア・サークル団体・ドンドン商店会による出店コーナー、多世代交流コーナー、喫茶コーナーなどを行う。また、横浜南消防団、太田・太田東部保健活動推進員に協力いただき開催する。 10月頃
10	生活応援団「ちよぼら」	平成11年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯、障害者への生活支援。	1:高齢者	2	支えあい連絡会から発足。ボランティアグループ「ちよぼら」が地域の一人暮らしの高齢者や高齢者世帯、障害者のお宅に出向き、庭木の剪定や草刈り、家具の補修や電球交換などを実施し、生活支援を行う。 5月～7月、10月～12月頃活動予定
11	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成22年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	「よこはまシニアボランティアポイント」制度の利用登録の推進。	5:地域	1	ケアプラザで活動をしているボランティアや地域の方を対象に「よこはまシニアボランティアポイント」の登録研修会を開催する。 時期は未定
12	ドンドン縁日	平成12年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民との交流、地域住民に地域ケアプラザの活動を知ってもらう	5:地域	4	ドンドン商店会の縁日に参加、子どもが遊べるコーナーを担当 8月
13	夏休み大判焼き体験会	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	小学生の夏休みの活動、ケアプラザの周知	4:子ども・青少年	5	ボランティアグループの協力を得て、小・中学生対象とした大判焼き体験会を開催 7月末頃

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
14	気軽に体験「椅子ヨガ」	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	やってみたいと思うことを気軽に身近なところで体験してもらう。 地域の人たちの交流、健康への意識向上、ケアプラザの理解につながることも期待できる	5:地域		1 南区街の先生を講師に座ってできるヨガを行う。4月から9月まで、第1金曜、第3金曜に開催。
15	プレ&ママパパ交流会	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	プレママ・パパが子育てのイメージを持ち、不安などを軽減することが出来る。 早いうちから、地域の子育て支援について知り、安心して支援している場所やサービスを利用し、子育てすることが出来る	3:養育者及び乳幼児	5	プレママパパと二人目以降のママパパを対象にした交流会 産前産後の悩みを相談したり、地域で子育てしている方の話を聞いたり、交流します。 M－HOUSE三春台と区役所と協働で行います。 7月、11月、3月予定
16	介護者のつどい「みんなの会」	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	要介護者を抱える家族に外出や気分転換の機会を提供し、活動の場を地域に広げます。合わせて介護や介護者に対する理解を深めます。また、介護者の負担感を軽減することにより、在宅での介護を続けられる環境づくりをするとともに高齢者虐待などの防止も図ります。	5:地域		①身近なケアプラザを利用し地域での居場所づくり ②家庭と異なる環境・人との接点づくり ③福祉サービス等の情報を知っていただく 上記の事を行える場とする。 ○毎月第3火曜日、10:00～12:00
17	高齢者虐待防止普及啓発事業	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の自治会・町内会、民生委員、地区社会福祉協議会、友愛活動員等広く一般の地域住民の高齢者虐待防止についての認識や意識を向上を図ります。 また地域の福祉保健活動者との更なる連携・相談体制の強化を図ります。	5:地域		高齢者虐待については一般的に興味を持ちにくい傾向がある。 高齢者虐待について身近なものと認識してもらえるよう常に携帯していることが多いポケットティッシュで普及啓発物品を作成して配布する。 ○随時
18	ケアマネサロン	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャー同士が利用者の心身の状況等に応じ、利用者自身の選択に基づくケアマネジメントを実践することができ、地域の多様な資源を活用し、必要なサービスの提供だけでなく、その人らしさを発揮できるようなケアマネジメントを実践できることを目指します。	6:事業者		ケアマネジャー等が共通に抱える課題の解決に向けた、事例検討会や研修会、情報交換会を実施する。 ○随時
19	あずまカフェ	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療と介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、ケアマネジャーが、医療や介護の関係者と連携したケアマネジメントを実践できるよう資質の向上を目指します。	6:事業者		ケアマネジャーの医療知識の向上や、医療や介護をはじめとした多職種と連携しながらケアマネジメントを実践するための研修等の実施。 ○5月・7月・9月・11月・1月・3月 ○第三金曜日13時～14時
20	民生委員・ケアマネジャー連絡会	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーが介護保険の制度のみでなく、地域関係者と連携し、住み慣れた自宅で生活ができるようにケアマネジメントを実践することを目指します。	5:地域		地域福祉関係者（民生委員）との交流も含めた「連絡会」として開催し、顔の見える関係づくりを行います。 ○5月
21	地域ケア会議	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	個別ケースの課題から地域の現状と課題が把握ができ、地域の支援者との仕組みづくりを行う為のネットワークの構築を目指します。	5:地域		町内会とのネットワーク構築の為に地域の実情を把握し、町内会等との関係づくりを行います。 ○5月・10月頃
22	認知症サポーター養成講座	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	「認知症を学び、地域で支える」をテーマとして、太田地区と太田東部地区各々の地域にて、キャラバンメイトによる講座開催を支援してまいります。	5:地域	4	太田地区、太田東部地区の地域団体、小学校等に対し不定期に開催。
24	いきいきダンベル体操教室	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	運動機能の維持・改善、認知症予防など、介護予防に必要な活動への自主的な取り組みを支援する。	1:高齢者	5	・Asukaスタジオ ・第1・第3木曜日（変更有） ・西中前里一・二白金一町内会共催。
25	清水ケ丘第二町内会館玄米ダンベル体操教室	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	運動機能の維持・改善、認知症予防など、介護予防に必要な活動への自主的な取り組みを支援する。	1:高齢者	5	・清水ケ丘第二町内会館 ・毎月第2・第4月曜日（変更有） ・清水ケ丘第二町内会共催。
26	玄米ニギニギダンベル・ストレッチ体操	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	運動機能の維持・改善、認知症予防など、介護予防に必要な活動への自主的な取り組みを支援する。	1:高齢者	5	・南太田4丁目町内会館 ・第1・第3火曜日 第4木曜日（変更有） ・南太田4丁目町内会共催。

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
27	みなみフレイル予防健診	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	かいご予防サポーターが担い手となり、包括版のみなみフレイル予防健診を開催する。	1:高齢者	1	・6/20(金) 南太田四丁目町内会館 ・11/13(木) 清水ケ丘第二町内会館
28	清水ケ丘公園脳トレウオーキング教室	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	①地域の高齢者が、ロコモ予防、サルコペニアの予防ができる。 ②身近な場所で地域の方と共に脳トレ教室を開催することで、地域への介護予防普及啓発となる。	1:高齢者	5	・清水ケ丘公園自由広場 ・毎月第2・第4木曜日 午前10時～11時
29	清水ケ丘地域ケアプラザ かいご予防サポーター・ブロック会議	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域での介護予防活動に必要な知識の修得や、ボランティア活動のモチベーションを維持することができる。	5:地域	5	・かいご予防ボランティア、脳トレウオーキングボランティアを対象としたスキルアップ講座を開催。 5/29(木) 1/30(金)
30	成年後見制度普及啓発事業	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度等については当事者の関心は薄い。当事者だけでなく、支援者が掘り起こせるように必要な知識を理解してもらう必要がある。	6:事業者		成年後見制度の利用を検討している方を担当するケアマネジャーから相談を受け、必要に応じて本人や家族への説明や申立支援を一緒に行っていく。また、市民向けに権利擁護に関する終活講座を行っていく。 ○随時
31	介護予防教室	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者に、介護予防に必要な運動講座、口腔ケア講座、栄養講座を開催し、フレイル予防に必要な知識を持っていたく。	1:高齢者	1	・南センター:5～6月 第2・4(月) ・南太田4丁目:6/20 運動 ・コンフォール:10/20 ・三春台:10/24 ・清水ケ丘第二:11/13
32	ハッピーストレッチ	令和6年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者向けに健康作りの集いの場を作り、継続させる。	1:高齢者		太田地区社協と共催。 毎月第2、4水曜日に太田地区町内連合会館で開催している。玄米ダンベルを使った運動。
33	認知症キャラバンメイト定例会	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	エリア内のキャラバンメイトが主体的に小学校や地域団体に向けて認知症サポーター養成講座を開催したり、認知症の理解を広げる活動をしたりできる。	5:地域		・キャラバンメイトとともに認知症サポーター養成講座等の計画や振り返りを行う。 ・必要に応じて年に2～3回実施。
34	よりみちcaféフラット	令和8年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	ケアプラザで高齢者の運動以外の集いの場を開催したい。高齢者を中心とした多世代交流に発展する事を期待している。	1:高齢者		・月1～2回、多目的ホールと中庭を利用してレコード鑑賞カフェを開催。参加者に飲み物を提供する。